



日野 健 議員

財政見通しと平成23年度予算編成

問

①市税収入状況・地方交付税の動き等、財政状況と見直しについて問う。
②平成23年度財政健全化の取組と予算編成の基本方針を問う。行政評価、補助金の見直しについても併せて問う。

答 総務部長

①23年度税収見込みは、個人・法人税とも今年度並みと予想される。交付税については、3年連続で増加となっている。
21年度決算から本市の財政状況を見ると、実質公債費比率は15・2%、

将来負担比率は102・9%と前年度からは改善されている。経常収支比率は88・3%と財政の硬直化は高い。

②将来にわたって持続可能な財政構造を構築するため、なお一層の行財政改革と事業精査に努める。

答 中村市長

②歳入確保の一層の推進を図るとともに、歳出の徹底した見直しによる無駄な支出の削減に努める。

ウエルピア伊予の現状と今後

問

①経営状況及び施設の利用状況と経営理念
②今後の施設のあり方、方向性についての見解と対応及びリニューアル計画の予定

答 産業建設部長

①都市機能及び市民等の教養、文化の向上を図る

ための発信基地の役割を担う施設と考える。
基本方針として、文化創造、ネットワークの拠点及び歴史文化醸成拠点を掲げ、施設運営を行っている。

答 中村市長

②今後も全施設の機能を維持し、適切な修繕、管理を行い、施設の維持に努めたい。

答 都市整備課長

②今後の改修時期は、30年までに利用者の動向や利用状況を踏まえ、検討したい。30年までは現在の施設を修繕しながら維持したい。

本市の農業・農村問題

問

①戸別所得補償モデル対策の実施状況及び戸別所得補償制度の本格実施に向けての取組
②担い手確保のため基金を創設し、新規就農者を支援してはどうか。見解と対応策

答 産業建設部長

①実施状況は、加入が1299戸、約610軒で、

加入率は81・8%である。関係機関に対し、モデル事業の検証と地域の生産条件に応じた補償制度の創設を要望したい。

②財団法人えひめ農林業担い手育成公社に対して、既に本市から1500万円余りの出資を行っており、現在のところ市単独で基金創設は考えていない。今後、国・県を初め関係機関・団体と連携し、支援したい。



米の収穫

その他の質問事項

・市営住宅の建て替えについて

ウエルピア伊予の経営状況及び利用人数

区分		平成21年度	平成20年度
消費税後の利益額		3,017万5,938円	710万7,478円
市への納付金		905万2,782円	213万2,244円
施設名・ 利用人数 (人) 21年度	会議室	60,432	30,286
	宿泊	17,192	34,984
	レストラン	110,213	710,748
	入浴	34,984	710,748
	テニス	30,286	710,748
	ゴルフ	86,978	440,439
	体育館	32,827	440,439
	プール	37,201	440,439
	その他	30,326	440,439
	合計	440,439	440,439